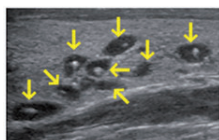
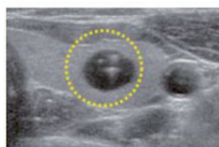


のう胞は中に液体がたまった袋状のもので、健康な方にも見つかることの多い、良性のもの



良性ですが  
20mmを超えるとのが  
圧迫されるような感じが出るので、  
中の液体を抜くことがあります。



- ・のう胞は数やサイズが頻繁に変わる。
- ・多くの方が複数ののう胞を持っており、その中で最大のものの、大まかなサイズをお知らせする。
- ・のう胞はそこに液体のみがあり、細胞がないためがんになることはない。
- ・今回の検査でのう胞と判定されたものは良性。
- ・のう胞は乳幼児に少なく、学童期～中高生に多く見られる。

甲状腺検査についてのQ&A（福島県立医大放射線医学県民健康管理センター）より作成

福島で行われている甲状腺検査で「のう胞」と判定しているものは、中に液体のみが溜まった袋状のもので、細胞のない良性のもので。健康な方にも見つかることが多く、特に学童期～中高生に多く見られるものです。そのため、繰り返し検査を受けると、成長に伴ってのう胞が見つかることもよくあります。

例えば、1回目の検査でA1判定の方が、2年後、2回目の検査でA2判定になることはよくあることです。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2014年3月31日

：2015年3月31日

関連 Q&A

- ・6章 QA28 「のう胞」、「結節」とはなんですか